

伏見をフィールドにした地域連携型教育プログラムの展開 -まちぐるみキャンパス（学び合いのコミュニティ）の深化-

事業概要

・2016-2019年の龍谷大学「学まち連携大学」促進事業を発展し、京都文教大学、京都すばる高等学校との更なる連携を通して、各大学校が位置する「伏見」をフィールドにした地域連携型教育プログラムの展開をめざす。

「地域公共政策士」資格教育プログラムの地域連携型教育の一層の充実と伏見区における「まちぐるみキャンパス（学び合いのコミュニティ）」の深化を通して、地域・学生がともに学び、専門や世代を超えた交流による成長を促進し、高大連携のモデルを構築する。

教育プログラムの内容

- ・オンラインを活用したCBLプログラムの開発
- ・各大学校連携により「地元学」、「多世代・多文化交流」、「高大連携」等をテーマに、正課、課外の教育プログラムを開発し、「まちぐるみキャンパス（学び合いのコミュニティ）」を伏見区内で展開
- ・龍谷大学におけるCBLプログラムの全学展開



オンラインを活用したCBLプログラムの開発

- ▶ **ビデオ教材の制作**
[学まち伏見チャンネル](#)にて一部公開

地域における探究学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・探究学習のトビラを開く ・地域課題って何だ
伏見区地域学習教材	<ul style="list-style-type: none"> ・京都・伏見からみる地域社会 ・『深草』歴史探訪 ・向島の歴史～戦国から近代～ ・向島の農業と新たな挑戦 ・向島ニュータウン今昔物語
向島地域多文化共生教材	<ul style="list-style-type: none"> ・グローバルッキング： ペルー料理編、ベトナム料理編 コロンビア編、ブラジル編 ・インド『心のヨガ』講座 ・コロンビア珈琲講座

- ▶ **地域連携型教育のオンライン活用事例集の発行**



- ▶ **地元学アーカイブ(オンライン教材)調査**
伏見区内を対象としたウェブサイト、地図、資料、ビデオ等を調査し170コンテンツを収集・整理
行政情報、地図、写真、動画に分類し、地域連携型教育の教材として活用できるよう、[ウェブサイト](#)に公開

- ▶ **CBL・PBLオンライン活用ガイドブック作成**
プログラム開発に関連して購入した情報機器類を活用シーン毎にリスト化、バーチャルフィールドワーク、オンラインワークショップ等、ハイブリッド型授業の開発



- ▶ **オンラインフォーラム「テクノロジーと地域再生」の開催**
事業成果発信のために、オンラインフォーラムを開催し、全国の大学、企業、行政、NPOから66名が参加し、社会課題にむきあう授業のあり方、社会起業家の育成、地域連携型教育へのIT活用方法などを共有

- ▶ オンライン共通教材や各種機材等は高大連携、地域連携型の授業運営をよりスムーズなものとし、時間的・空間的制約が軽減され、地域や学校間連携の可能性や幅の広がりが見いだせた

2月14日 (水)
13:30-15:00

Faculty of Policy Science

Online Forum

テクノロジーと地域再生

オンラインと対面、ハイブリッド型の学びから見える未来

▶ 伏見CBL演習/地域課題発見演習による向島地域高大連携授業の展開 (京都すばる高等学校・京都文教大学)

- ・地域イベントへの参加、地域関係者との交流を通じた現状把握
向島まつりにおける地域の魅力発信、発掘ブース担当
- ・オンライン、ビデオ教材等を活用した各大学校合同授業の実施
- ・各大学校の取組や地域の魅力・課題を取材、リーフレット作成・配布



▶ 地域の多文化共生、子ども若者支援活動の推進 (京都文教大学)

- ・向島ニュータウンにおける日本語教室、日本文化紹介ワークショップ・
向島文化の日開催、市営住宅空き室を活用した「藤の木セカンドハウス」の
運営への参加、外国ルーツの子どもたちの学習支援等



- ▶ 年間スケジュールや開講曜講時を調整することで合同授業体制を確立
向島秀蓮小中学校とも、授業・調査・イベント等にて連携
立場を超えた学び合いのコミュニティの深化がみられる
- ▶ 特定の地域を共通のフィールドとし、それぞれが学びの目的や専門性を持ち
学校、地域双方にとって有意義な地域連携型教育が期待される



▶ 高校生版地域公共政策士の資格制度の検討

- ・龍谷大学と京都文教大学は、「地域公共政策士」資格教育プログラムを開発
する地域公共人材大学間連携事業をともに推進しており、地域連携型教育の
充実を図ることで「高校生版地域公共政策士」資格教育プログラムを開発

- ▶ 探究学習や地域連携型教育を先行して実施している高校を中心に、就職・進
学時に特色ある学びを保証する「高校生版地域公共政策士」などの資格制度
に対する期待が高く、京都すばる高等学校をモデル校として試行的に運用予
定(2024年度～)
- ▶ 今後普通科高校でも新学習指導要領によって導入された「公共」や「総合
的な探究の時間」のあり方や、高大連携によるカリキュラムを資格教育プロ
グラムとして開発していくことが期待されるとともに、地域をフィールドと
した学びの展開が模索されているため、大学側の受け入れ態勢の整備が求め
られる



龍谷大学におけるCBLプログラム全学展開

▶ 地域課題発見演習の全学教養科目への提供

- ・龍谷大学教養教育センターによる教養教育改革に連動して、「地域課題発見演習」を
新設しアクティブラーニング科目に位置付けを予定(2025年度～)
※龍谷IP(市民的教養を起動する教養教育プログラムの開発)と連携
「教養教育科目特別講義(社会課題発見演習)」(2022年度～)
「教養教育科目特別講義(社会課題解決演習)」(2023年度～)



- ▶ 今後深草キャンパスにおいて地域の課題発見・解決を目指す学部・学科が増
えることから、各学部で地域連携型教育の充実が期待されるが、教養教育科
目の中で、全学部の学生に対して地域連携型教育の展開・充実・連携を目指
して、カリキュラムの整備が求められる



▶ 全学部の学生が参画する学生と地域住民との交流・情報発信の場の構築

- ・NPO法人深草龍谷町家コミュニティに参画する学生団体を中心に、各学部の正課・課外団体、
京都すばる高校が連携地域の特産物や共同開発品を販売し、その地域をPRすることを目的に出品・出展
するマルシェの開催(2022年10月から計7回、場所:龍谷大学紫光館前広場、稲荷橋)
講師による事前学習や参加者同士のワークショップ、振り返りの場を設ける



- ▶ 高校生や大学生が企画、商品仕入れ、販売、マネージメントを実体験し、対面販売
により商品への要望やニーズなどを聞き今後の商品開発に活かすことができた
- ▶ 地域住民や観光客は学生たちと会話することで授業やゼミの取り組みに興味・関心
を示しており、全学的な地域連携課外プログラムとして成果を上げることができた